

【戦評シート】

2012年1月29日（日）	協会名： 石川籠球クラブ	
場 所： 北陸電力体育館	記入者：	
チームA 石川 78 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 勝 敗	18-23 20-18 17-20 23-20	チームB 豊田合成 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 勝 敗

スターター	チームA： #2 綿貫、#6 山田、#13 八坂、#15 宮村、#55 田中
	チームB： #3 木下、#5 江藤、#10 稲葉、#11 大原、#22 阪下
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

1P
 両者マンツーマンディフェンスで試合がスタート。出だし豊田合成は石川の堅い守りの前に思うようにシュートが決まらない。一方石川は早いパス回しからリズム良く得点していく。豊田合成も徐々にリズムを取り戻し、23-18豊田合成リードで第一ピリオドを終える。

2P
 石川は速攻を出し開始4分で逆転に成功する。豊田合成はすかさずタイムアウトを要求する。その後豊田合成はリズムを取り戻し一進一退の攻防が続く。38-41豊田合成はリードで前半を終える。

3P
 豊田合成は#0原田のインサイドで確実に得点していく。しかし石川も#2綿貫のシュート、#6山田のドライブで必死に食らいつく。第3ピリオド55-61豊田合成リードで終え、勝負の行方は最終ピリオドへともつれ込んだ。

4P
 両者果敢にゴールを狙うがなかなか点差は開かない。しかし残り5分で石川のターンオーバーから豊田合成が得点し、この試合初めて豊田合成が二桁リードをする。
 このまま試合が終わるかと思われたが、石川#24高村が連続3ポイントで奮闘し、残り30秒で遂に1点差とする。石川は最後の最後まで攻め続けるがシュートまで持っていくことができず試合終了。78-81で豊田合成が勝利した。

総評
 両チームシュートがよくきまり最後までどちらが勝つかわからない試合展開であった。石川は最終ピリオドで点差を広げられながらも#24高村を中心に粘りを見せるが、最後の最後で勝利を手中に収めることができず、豊田合成が接戦をものにし嬉しい勝利をあげた。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。